

1 泉 竜聖 6年 GK

僕は、この大会ものすごく、成長しました。そして、この全日本少年サッカー大会出れたのは支えてくれた、人達のおかげです。遠征に行けば、茨城の方々が、ホームステイを、うけいれてくれたりしました。皆様のおかげで、今の自分達が居ると思います。皆様の分まで絶対優勝すると言っていましたが結果は、グループステージ敗退でした。自分達の力を全部出した結果でした。優勝は、出来なかったけど自分達は、成長しました。生活面、サッカー面でも、色々なこと学び、成長しました。そして、また新たな、目標が出来ました。それは、これからの大会で優勝し続けることです。この大会で学んだことをいかして頑張ってください。今まで支えてくださった方々ありがとうございます。これからも強いAC ジュニオールを作っていきますので、これからも応援よろしくお願いします。

2 大島 樹 6年 DF・MF

1月から強化が始まりました。その時、ぼくは他のみんなとは一つ下のカテゴリーでした。なのでぼくは上のカテゴリーに上がろうと毎日練習をしました。1月の終わりにみんなと同じカテゴリーに上がることができました。上がってすぐの遠征でぼくは全国レベルのプレー、チームを知りました。そのチームは団結していて、心と心がつながっているチームでした。この遠征の後には少しずつでも全国レベルに近づこうと練習しました。4月の遠征でかんとくにほめられて自信をつけたり、注意されて自分のかだいに気付いたり、かんとくにいろいろなことを教わりました。ぼく達が一番変わったと思う遠征に4月末に行きました。その遠征ではぼく達が一番大事にしている声を出すということを意識して試合をしました。この遠征に行っていなかったら声が出ないチームになっていたと思います。

全国大会に来て、グループステージはいたいという結果になり今までお世話になった人に恩返しをすることができなかつたですが、この大会でできた”これからの大会は優勝”という目標と、このくやしさをわすれずにお世話になった人に恩返しをしたいと思います。今までぼく達をささえて下さった方々ありがとうございました。そして、これからもがんばりますのでぼく達のことをよろしくお願いします。



3 金野 太亮 5年 DF・MF

ぼくたちはちびリンピックでベスト4というあまりいい結果ではありませんでした。そして僕たちは次の大会の全日本に向けていろいろな事をしました。えんせいでは色々な人にお世話になりました。えんせいに行けたのはお母さん、お父さんやいろいろな人に支えてもらったからだと思います。そして、えんせいでは茨城に行ったり、とちぎに行ったり江南南えんせいに行ったりしました。そしておたがいに強くなろうと思って戦いました。例えば、ばらきや、ファイターズや、新座かたやま、そして埼玉FCジュニアや、江南南、オオタFCなど、たくさんのチームにお世話になりました。いろいろなえんせいに行ってだんだん成長してきました。そして全国大会の予選が始まりました。決勝リーグは順調に勝ち進み、決勝までたどりつきました。そしていよいよ決勝戦の日が来ました。相手は塩釜FCです。そしてメンバーが発表されました。ぼくはスタメンではなかったのでチームのためにできることを探しました。そして試合は愚音のロングシュート2点、相手はフリーキックからの1点で2対1で勝ちました。そして全国大会をつかみました。全国大会では、色々な人に支えてもらっているという気持ちを忘れずに戦いました。結果は一次ラウンド敗退でドリームトーナメントベスト8でした。全国トップクラスの選手はドリブル、シュート、ディフェンスのテクニック全てとてもうまかったです。ぼくも全国のトップクラスの選手になれるようにがんばってみたいです。

4 及川 大遥 6年 MF・DF

1月から大会に向けての強化が本格的に始まりました。僕はその時はまだリアルで、バルサの皆とはやっていませんでした。なので僕はバルサにあがるために必死で練習をして、県大会の2ヶ月前くらいからバルサにあがれました。そこから約2ヶ月間の間に遠征や練習でいろいろなことを学び、そうして全国大会にでることができました。僕はリアルの時、いろんな失敗をしたり、怪我をしたりもしました。でも、あきらめずに遠征や練習を必死にやって、大会の前にリアルにあがる事が出来たのでよかったです。僕はバルサにあがってから、何回も遠征に行ったり練習をして、ここまでくる事が出来たのですごく嬉しいです。でも、全国大会の試合にあまり出られなかったのだからもっと練習をして、試合に出られるように頑張りたいと思います。

全国大会では予選敗退で、全国のレベルを知りました。僕達は力が足りなかったのでもっと練習しようと思いました。僕たちが全国大会に行けたのは、今まで僕達を助けたりしてくれた人たちの支えがあったからです。そして、これからは全国で学んだことを生かして行きたいと思います。これからも大会があるので応援よろしくをお願いします。

5 山田 凌雅 6年 MF

僕たちは自分やチームに力をつけるために、何度も遠征に行かせてもらいました。遠征先のチームの人たちにはとてもお世話になりました。埼玉強化遠征に行ったときは、江南南との試合で、前半は2点ビハインドでしたが、後半3点取れました。先制されてもあきらめない気持ちを持つことができました。全国大会でも、強豪チームを相手にすごくいい試合ができたと思います。二次リーグで負けてしまい、惜しくもドリームチームになってしまいました。気持ちを切り替えて、ドリームリーグで優勝することを目標に頑張りました。決勝トーナメントには進むことはできましたが、負けてしまいました。改めて、全国は強いと感じました。そして、自分たちに何が足りないかも解りました。それは、フィジカル面であったり、ボールを持っていないときの動きだと思いました。気づかせてくれた人たちや、お世話になった人に、リスペクトの気持ちを込めてプレーしたいです。フェアプレーで、でも熱くプレーしたいです。応援ありがとうございました。

6 服部 真知 6年 MF

1月から本格的に全日本に向けて、遠征や練習試合、試合に向けての練習がはじまりました。厳しい練習や全国の強豪チームとの試合など、とても辛いものでしたが、色々な人に支えられ、元気付けられました。何度も何度も落ち込んで立ち直りました。そのなかで宮城県の予選を勝ち進んでいき、決勝まで登りつめました。初めてのスタジアムでの試合だったので、緊張とワクワク感があり、今までにない気持ちになりました。試合の時間が近づいてきました。試合が近づくと緊張感がとても強くなっていきました。試合前にチーム全員で円陣を組みました。そうしたら緊張が一気になくなり「やるぞ!」という気持ちになりました。試合は2-1で勝利しました。勝って試合が終わった時は今までの苦しみが一気に嬉しさになって溢れてきました。同時に感謝の気持ちも溢れてきました。お世話をしてくださった人達や今まで試合をしてくださったチームへの感謝の気持ちです。目標だった全国大会の切符を手に入れました。全国大会では自分の得意な事を出し、良い結果を出そうと思いました。

今、静岡にいます。今までやってきたことを全部出し、良い結果を出そうと思いい試合をしました。これからも感謝の気持ちを忘れずに自分の得意な事を出していきたいです。そして、色々なことを学んでいきたいです。

7 小笠原 陽 6年 DF・MF

僕たちは1月～6月まで約半年間、様々な方々にお世話になり茨城県や埼玉、栃木、山形、秋田等に遠征することができました。遠征では、各県の強豪チームと試合をしました。1月の最初の茨城遠征では、競り合いで負け、声も出ず試合に負けていましたが、遠征を重ねるごとに、競り合いで勝つようになり、声も少しずつ出るようになりました。そして、分かった事は、僕たちの強いプレー、勝つプレーを見つけられた事です。それは、声を出して、強い気持ちで、前に進み、相手からボールを奪うプレーです。そして、少しずつ試合に勝てるようになりました。勝つことが自信となり、チームの目標である宮城県代表になりました。

全国大会では、一次予選の平章SSSとの試合では、4対2で勝利しました。2試合目はフットー口と試合し、0対0で引き分け貴重な勝ち点1を取りました。しかし、3試合目で田宮ビクトリーと試合し、1対2で負け予選リーグを敗退してしまいました。すごく、すごく悔しかったです。宿舎では、荷物の整理整頓もできず、ゴミが落ちていることもありましたが、最後の日にはきれいにできたので良かったです。

これからも大会はあります。たくさんの方々にお世話になる事もあると思います。一生懸命努力して必ず恩返しますので、熱い応援、ご指導よろしくお願い致します。



8 岩淵 一樹 6年 キャプテン MF

僕たちは宮城県代表として全日本少年サッカー大会で全国大会に出場しました。ここまでの道のりはとても大変でしたが苦しい練習をたえ、ここまでこれました。例えば茨城県の遠征では全国の強豪と戦い走りきったり江南南遠征では暑い中、集中を切らさないで試合をしました。そのような経験、監督コーチやさまざまな人に助けてもらい、また感謝の気持ちや最後まであきらめないというみんなの気持ちで宮城県大会を優勝することができました。全国大会では富士山の見えるコートで試合ができてとても気持ち良かったです。1日目は福井県の平章SSSと対戦しました。相手はとてもドリブルが上手でしたがしっかりと対応したり、積極的にゴールを狙って全国大会初勝利を飾ることができました。終わってから次の試合の事を意識して行動しました。次の試合は神奈川県代表のJFCフトゥーロと対戦しました。アップから気合を入れました試合が始まる前とても緊張しました。試合が始まってからはずっとおされていましたが、耐えて少ないチャンスを待ちました。でもチャンスを自分が決められずに同点で終わってしまいました。でも切り替えて次の日に向けて今まで一番の最高の準備を心がけました。夜は次の試合のことで頭がいっぱいでした。2日目はアップから集中して声を張り上げて良い準備をして試合に入りました。相手はパスが良く繋がりあまりボールを触れませんでした。前半に1点先制点を決められました。ハーフタイムにはみんなで声をかけて集中しました。後半始まってから1点取り返せました。しかし相手に追加点を決められ負けてしまいました。僕は全国トップチームとの実力の差を感じました。生活面では部屋が散らかったりしていましたが最後の方はきれいにたもたれてきたので良かったです。挨拶などは誰にでも出来て全国にいっぱい友達が出来ました。沢山の方々の協力や応援していただいたおかげです。ほんとうにありがとうございました。

9 佐々木 大地 6年 MF

1月から全国大会の為の強化が始まりました。茨城遠征やファイターズ遠征、日帰り遠征などをしました。最初の方はぜんぜんいいプレーもできず自分達のミスで失点ばかりしていたけど、遠征に行くたび強くなり全国の強ごうチームにも互角に戦えるようになりました。そして全日本宮城県大会が始まりました。2次リーグでは大雨の中戦いその中でもうまく自分達のサッカーができて2次リーグを突破できました。その後ベスト8、ベスト4どちらも先制点を決められたけどそこで、「もうダメだ」とならずどちらも逆転して勝利しました。そして決勝戦、相手は塩釜FCでした。塩釜FCとは全日本前に練習試合をしていい結果を出せていたので不安はありませんでした。けど決勝戦はなかなかすすることができずに2ゴールともロングシュートでした。試合に勝てたのは良かったけど自分達のサッカーができずにくやしかったです。

そしていよいよ全国大会が始まりました。1試合目の対戦相手は平章SSSでした。試合の入りが良くて先制点を決めその後立て続けにゴールを決めて結果4-2で勝ちました。2試合目の相手はJFCフトゥーロでした。試合はフトゥーロにおされていたけど、最後までたえてたえて同点で終わりました。そして1次予選最後の試合引き分け以上で2次リーグ出場というゲームでした。対戦相手は田宮ビクトリー、僕は絶対にゴールを決めて1次リーグを突破しようと強い気持ちで試合にいどみました。しかし相手の10、9、8番をおさえられずに1-2で負けてしまい1次リーグ敗退で終わりましたとてもくやしかったです。

僕はこの全国大会で経験した、良かった所はのばして、ダメだった所はしっかりしゅうせいして次のバーモントカップでも優勝して全国大会に出場し次こそは優勝できるようにがんばりたいと思います。

10 廣澤 偲音 6年 DF・FW

ぼくたちは今までいろんな人にお世話になりました。今年こそ全国へ行きたかったので1月から約半年間ぼくたちのためにかんとくは、朝早くから遠征に連れて行っていただき強豪チームと多くの試合をさせてもらいました。最初は相手についていけず自分は相手におそれ、びびってプレーしてアクシデントもありましたが、だんだん回を重ねるごとに少しずつ対応しプレーできるようになりました。そして宮城県大会決勝ではいつも通りのプレーで優勝することができました。ここまでこられたのも、かんとくさんをはじめ強豪チームの人たち、ジュニオール全員の仲間の応えん、雨の中シュート練習をしてくれたせんぱいたち、そして家族のサポートがあったからこそだと思います。全国大会でもたくさんの方がサポートしてくれました。佐藤コーチ、今野コーチ、かんとくの奥さん、そしてジュニオール卒団生の林しんたろうさんも来てくれました。しんたろうさんはぼくたちの身の回りのことをサポートしてくれました。

到着した日から練習試合をしていただき体を調整することができ、8月4日いよいよ1次リーグ全国大会初試合で平章 SSS と対戦しました。そして全国で初勝利ができました。2試合目では神奈川のフトゥーロと対戦しました。ずっと押され続けられましたが、自分たちもたえにたえて何とか引き分けにできました。次の相手は徳島の田宮ピクトリーで、これに勝つか引き分けで2次リーグ行きが決まります。相手チームの攻撃がうまく連動し、たえていましたがとうとう決められてしまいました。1度は追いつきましたが、すぐに決められて1次敗退となりました。全国はそう甘くはありませんでした。しかし自分たちもたくさんチャンスを作れたし、やれることはやれたのでいいと思いましたが、自分としては積極的にプレーできなかった事がくやしかったです。これからはもっと上を目指して自分にきびしく頑張ろうと思います。

宿舎ではほかのチームの友達もでいい思い出となりました。ごはんがとてもおいしく部屋がとてもきれいで気持ちよく眠れました。ただ、自分たちの部屋がちらかったり汚かったりとチームの事ができなかったことが反省点です。

最後に、このような全国大会に仲間と行けて本当にうれしかったです。ジュニオールにいなかったらこんな事は一生経験できなかったかもしれません。今までお世話になった全ての人に感謝したいと思います。ありがとうございました。これからも練習や大会がありますが、ジュニオール全員の仲間とたくさん思い出を作り、学校生活では6年生残りの生活を大事にしていきたいと思っています。

11 本田 真斗 5年 MF

今回の全国大会は遠征をたくさんして苦しいことや、悔しいことをみんなで乗り越えて出場出来たことが、とても良かったと思います。試合結果は予選グループ3位で惜しかったのですが、内容は相手に押し込まれて守備の時間が長く自分たちのやりたいサッカーが出来ませんでした。個人としては、緊張はなかったのですが、相手のレベルが高くて自分の良さが出せなくてとても悔しかったです。強いチームはやっぱりプレースピードや判断が速かったです。

生活面では今までにない長い宿泊で、自分のことを自分で出来ないことが色々あったので、そういう所もサッカーに出るので見直して行きたいです。

僕は五年生なので今回の経験を生かし、もっと努力をして来年も全国大会に出て、強豪チーム相手でも活躍出来るように頑張りたいです。

そして最後に、お世話になった監督や奥さん、支えてくれた家族や色々な人達に感謝をしたいと思います。このような経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

12 佐藤 太一 6年 FW

1月から全国大会へ向け、強化遠征や練習試合が増えてきました。強化遠征では、茨城県の遠征がとても多くて、すごく強いチームが集まっていた。その中で、全国レベルのチームと自分達の実力の差がとても感じられました。けれど、どんどん茨城に行くにつれ自分達の心の弱さや競り合いの弱さが、試合をやるに連れどんどん強くなってきました。そのおかげで、県大会を優勝することができました。全国大会は初めてなので最初は緊張とわくわく感と不安でいっぱいでした。けれど、静岡にきて練習などをして行くに連れどんどん不安が消えていきました。その分心が軽くなりました。最初は自分達の練習試合で、自分の目標のボールのキープが出来て良い調整が出来たかなと思いました。そのまま3日目まで練習を積んできました。そして全国大会の初戦が始まりました。相手は平章sssです。アップから気合をいれていきました。ぼくは、ベンチでした。試合を見ていてとても楽しめました。次はJFCフトゥーロとの試合でした。緊張感があって挑みました。けれど、まだ力が及びませんでした。けれど、この全国大会で色々な課題が見つかりました。生活面をはじめ色々な事が見つかりました。ここまで来ることができたのは、色々な人の支えがあったからだと思います。この感謝の気持ちを忘れずにこれからもプレーし続けたいです。

13 早坂 壮太 5年 FW

1月から本格的に全国大会の強化が始まりました。ばらきやファイターズなどの全国のきょうごうチームと何回も練習試合をしましたが、最初はフィジカルなどで負けてまったく歯が立ちませんでした。とても悔しかったです。そしてフィジカルや声などでたくさんトレーニングして、きびしかったり、くるしかったことにも最後までやりとげて、チーム的にもすごくレベルアップしました。最初はまったく歯が立たなかった強いチームなどにもいい試合ができるようになり、最後までやる、あきらめない大切さを学びました。その努力の成果が出て目標だった全日本の県大会では優勝して全国大会に行くことになりました。そして待ちに待った全国大会が始まりました。予選の1試合目ではきんちょうしていたけど、自分たちの強いところを出して4-2で勝つことができました。2試合目では攻め込まれるてんかいいになりましたが、全員でしっかり守りきることができて0-0でなんとか引き分けることができました。ここまでで得失点差で1位でした。3試合目では先せいされたけど、まえの経験をいかし同点に追いつくことができました。でもフリーキックから決められてしまい、負けてしまいました。予選リーグを3位で敗退しました。でもこの全国大会では仲間の大切さやいろいろな人に助けられながら生きているということを学びました。そしてこれからは全国大会で学んだことを大切にいかしながらこれからもがんばっていきたいです。

そして僕が成長したと思うことは2つあります。1つ目は行動です。理由は前まで個人のことを先にやっていてチームのことをあまりできませんでした。そして行動を早くしてチームのことも積極的にできるようになりました。2つ目は食事です。前まではご飯を食べる量が少なくゆっくり食べていました。そして家でごはんを食べる練習をして夜はがんばって3ばい食べれるようになりました。だから遠征でもその成果がでてご飯を食べれました。なのでこれからもがんばりたいです。みんなと協力しながらやってとても楽しくすごせて良かったです。これからもチームの仲間どうして協力してがんばりたいです。

15 砂子 丈一郎 6年 GK

全国大会にむけて遠征がいつもより増えてきました。とくに、茨城遠征によく行ってファイターズや埼玉ジュニアやばらきFCなどの強いチームと試合をし、力の差を見せつけられましたが、何回も戦っているうちに体や気持ちが強くなってきて県大会決勝で今まで勝てなかった塩釜FCに勝つことができました。次は、全国大会です。1日目は、練習試合があり全国でも続けていきたい良いプレーや、今後直していかなくてわならない悪いプレーがいろいろ見つかりました。2日目は、開会式があり、全国各地からたくさんのチームが集まりました。ぼくは、全国優勝は大変だということがすごくよくわかりました。3日目は、平章SSSとの試合がありました。前半に先制点を取ることができて勢いにのったので、もう1点取る事ができました。でも後半に1点決められてしまい、その後にぼくがでましたが、1対1を止めきれずに決められてしまいました。すごく悔しくて、次でたら絶対に決めさせないと思いました。その後に、フットーロと試合をしました。この試合では、ずっと攻められていましたが耐えて0-0におさえました。監督も、「こういう試合は必ずあるから」と言っていたので、こういう試合になれていかないといけないと思いました。4日目、田宮ピクトリーとの試合がありました。田宮は、8、9、10番がコンビを組んでいて、他の人もその3人にしか、パスを出しませんでした。その3人の攻撃に対応できず、先制点を許してしまいました。その後、1点返しましたが、フリーキックのこぼれをつめられ失点してしまい1-2で負けてしまいました。2次リーグに行けなくて残念でしたが、ドリームリーグでは、優勝しようとみんなで話し合い気持ちを切り替えました。ここで再度みんなの気持ちがまとまったような気がします。

全国優勝という栄光をみせられなくて残念でしたが、今回全国大会に出場して全国の強豪チームに勝つためには、まだまだ努力が足りないと感じました。

いままでサッカーをさせてくれた関係者、保護者の皆様に、感謝したいと思います。

